

講義名	経営管理演習(M1)		
講義コード	33502	授業形態	
担当教員	潘 志仁	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限

学部・学科	演習分野
大学院流通科学研究科	経営管理研究

概要説明
<p>本経営管理研究では、CSV経営戦略に関する文献レビューを通じて、自分の論文が既存の研究のなかでどのように位置づけられるかを明らかにし、独自の分析枠組みの提示を目指します。主な文献はつぎの2冊です。</p> <p>名和喬司(2015)『CSV経営戦略』東洋経済新聞社。</p> <p>伊丹敬之(2001)『創造的論文の書き方』有斐閣。</p> <p>関連論文は適宜指示をする。</p> <p>主な指導計画は、次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマを決める。「いいテーマとは何か」</li> <li>【予習】なぜこれをテーマにするかを深く考える(2時間)、【復習】改善すべき点を深く理解(2時間)</li> <li>2. 問題意識とは</li> <li>【予習】このテーマからなにをいいたいかを考える(2時間)、【復習】改善すべき点を深く理解(2時間)</li> <li>3. 仮説と証拠、論文の構成</li> <li>【予習】自分の論文仮説とは何か、それを証明するための証拠とはどのようなものかを深く考える(2時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を深く理解(2時間)</li> <li>4. 仮説の育て方</li> <li>【予習】自分の論文の仮説を育てるにはなにが必要なのかを深く考える(2時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を深く理解(2時間)</li> <li>5. 二つのタイプの証拠</li> <li>【予習】自分の論文の証拠が二つのうちのどれかを深く考える(2時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を深く理解する(2時間)</li> <li>6. データという証拠</li> <li>【予習】自分の論文にはどのようなデータが必要なのかを深く考える(2時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を深く理解(2時間)</li> <li>7. 厚い記述という証拠—論文は足で書く</li> <li>【予習】厚い記述とは何を意味するかを深く考える(2時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を深く理解(2時間)</li> <li>8. 発表</li> <li>【予習】なぜこれをテーマにし、なにを言いたいかを念頭に発表内容を作成(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を中心に書き直す(2時間)</li> <li>9. 発表</li> <li>【予習】研究対象・事例選択の理由を作成(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を書き直す(2時間)</li> <li>10. 発表</li> <li>【予習】先行研究の仕方に基づく発表内容を準備(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を書き直す(2時間)</li> <li>11. 発表</li> <li>【予習】自分の論文が先行研究のなかでどのように位置づけられるを深く考える(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を書き直す(2時間)</li> <li>12. 発表</li> <li>【予習】自分の論文の仮説とは何かを深く考える(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を書き直す(2時間)</li> <li>13. 発表</li> <li>【予習】証拠の育て方を深く考える(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を書き直す(2時間)</li> <li>14. 発表</li> <li>【予習】事例研究の書き方に従って作成(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を書き直す(2時間)</li> <li>15. 発表</li> <li>【予習】何が新しい発見か、それが研究課題に答えられているかを深く広く考える(4時間)</li> <li>【復習】改善すべき点を書き直す(2時間)</li> </ol>

主な卒業論文のタイトル
-------------

<p>202 年度修了</p> <p>「中国紡織企業における労働者の技能育成」</p> <p>「日本多国籍企業の海外子会社のトップマネジメントの現地化に関する研究 - ダイキン工業の事例を中心として - 」</p> <p>「日本多国籍企業の地産地消費戦略 - ダイキン工業の事例を中心として - 」</p>
---

教員からの要望
<p>大人の態度(礼儀、正しい言葉、態度、行動)</p> <p>早目の連絡(相談、推薦状など、早目に言ってほしい)</p> <p>相互に学びあう、助け合う(ゼミの仲間で)</p> <p>指導教員とのコミュニケーション</p> <p>指しげない、音信不通は損する、遠慮は損する</p> <p>授業開始後、スマホは必ずかばんのなかにしまってください。</p> <p>マイナス情報は重視してほしい。</p> <p>毎日論文んことを考える。</p>

選考方法
------

<p>求める学生像 - 「可山優三」(加山雄三)型</p> <p>ネクラよりネアカ</p> <p>やる気がある</p> <p>困難にくじけず立ち向かう</p>
---

評価方法
<p>出席(20%)</p> <p>発表(80%)</p>

教員英字氏名	研究室
PAN ZHIREN	研究棟1311

最終学歴
神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了

学位
博士(経営学)

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>単著</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『生産システムの海外移転』白桃書房、2001年。</li> <li>『中国企業のモノ造り』白桃書房、2007年。</li> </ul> <p>共著</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『中国農村の構造変動と「三農問題」』晃洋書房、2005年</li> </ul>

趣味・特技
<p>クラシック音楽の鑑賞</p> <p>釣り</p> <p>サッカー観戦</p>

所属
商学部マーケティング学科

所属学会
国際ビジネス研究学会

専門分野
<p>国際経営</p> <p>多国籍企業</p> <p>中国企業</p>

担当科目
<p>課題研究(経営管理)</p> <p>国際経営特論</p>

備考

実務経験の有無及び活用